親子聖書日課

NO.1988　2026.11/1-7　　名前

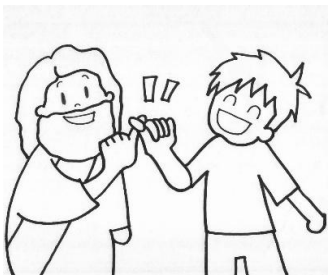
[日]教会を建て上げるためには,信仰･希望･愛が必要です。「信仰によって働き」「愛のために労苦し」「希望をもって忍耐している」なら,教会は必ず成長します。「ただ言葉だけによらず,力と聖霊と強い確信」によって伝道することが大切です。

[月]信仰を育てるためには,母親の優しさと父親の厳しさの両面が必要です。そして何よりも「自分の命さえ喜んで与える愛」が必要です。信仰の産みっぱなしはダメです。互いに信仰の親になって,ある時は優しく,ある時は厳しく接しましょう。

[火]「こんな苦しい目に遭うなら,神を信じたくない」という人はいませんか。しかし,私達も「苦難を受けるように定められている」のです。それは信仰の成長のために必要だからです。苦難によって,信仰が練達し,人を慰めることができるのです。

[水]欲に負けて,悪い習慣や付き合いをしていませんか。神は「聖なる生活」をさせるために,私達を招かれたのですから,「これでいい」と思ってはいけません。そのために聖霊を送られたのですから,聖霊を心に宿して,清く正しく生きましょう。

[木]主はいつ私達の所に来られるか分かりません。「盗人が夜やって来るように」思いがけない時に来られるのですから,いつ来られてもいいように,「目を覚まし,身を慎む」御言葉と祈りを絶やさず,霊的に眠らないように,励まし合いましょう。



[金]まきは一本では燃えないように,信仰生活も一人では燃えません。御言葉による励ましや助け合いが必要です。「霊の火」を消さないために,互いの信仰に気を配り,祈り合いましょう。そのために「聖書日課」や礼拝･分級･祈祷会は大切です。

[土]いつも神に感謝すべきことは何ですか。自分の事ですか。パウロにとっては,各自の信仰が成長し,彼らの間で愛が豊かになることでした。一人一人の信仰の成長と交わりの豊かさこそ,主に感謝し,祈るべきことです。さあ,感謝しましょう。

	聖書	問　題	答　え
日	Ⅰテサロニケ 1:1-10	福音が伝えられたのは何を何と何とによったからですか。	
月	2:1-16	福音を伝えたばかりでなく,何さえ喜んで与えたいと願いましたか。	
火	2:17-3:13	私たちが何を受けるように定められていますか。	
水	4:1-12	実に,神の御心は,あなたがたがどうなることですか。	
木	4:13-5:11	人々が,無事だ,安全だ,と言っているやさきに,突然,何が襲いますか。	
金	5:12-28	何を消してはいけませんか。	
土	Ⅱテサロニケ 1:1-12	兄弟達,あなたがたのことをいつも神にどうせずにはいられませんか。	
感想と祈りの課題			